

チャイルドライン・チャリティ公演



# 松元ヒロ

談志が愛した芸人が笑いで時代を斬る！

**SOLO  
LIVE**

**日時**

2019年

**6月28日** **金**

19時～【開場 18時30分】

**会場**

多世代ふれあいセンター  
2F ふれあいホール

(宇部市琴芝町二丁目 4-25)

**料金**

大人 2,500円 25才以下 1,000円

当日 500円増

※小学生以下は入場できません。

＜前売りチケット販売＞

フジグラン宇部・おのだサンパーク・宇部市民活動センター「青空」

宇部市文化会館・NPO 法人 うべ★子ども 21・NPO 法人 子ども劇場山口県センター

【主催】ドリームシアター・うべ 【企画・制作】NPO 法人 子ども劇場山口県センター

【後援】宇部市・宇部市民活動センター「青空」・FM きらら・宇部日报社・(一財)宇部市文化創造財団

【連絡先】NPO 法人 子ども劇場山口県センター (月～金 / 10:00～17:00)

TEL : (0836)32-4287 FAX : (0836)32-4288 E-mail : npokodomo@olive.plala.or.jp

# ヒロさんの魅力とは？

「松元ヒロ」の舞台の魅力を一言で説明するのは難しい。

決まったストーリーがあるわけではなく、『お笑い』と言うとそれだけでもなく、政治評論家とも違う。政治、時代、人間、それらを松元ヒロが感じ、考え、表現するものに共感し、魅了されるとしか言えない。

ファンを10年も続けていると、この問題、ヒロさんならどんな風に観せてくれるんだろうとふと思うことがある。2時間近くを小道具なしでたった一人のしゃべりだけで惹きつけるそのすごさ。

『こんな初めて観ました。  
またぜひ呼んでください』

という公演後のアンケートの声に励まされ、今年も声をかけちゃいます。あったかいヒロワールドにあなたも是非お越しを！

(主催者 ドリームシアター・うべ)



写真/橋 蓮二

## チャイルドラインは、 18才までの子どもの専用電話

子どもたちが誰かと話したいと思ったとき、困ったことや悩んでいること、嬉しかったことなど、匿名で何でも話せる電話が「チャイルドライン」です。

耳を傾けてくれる人がいるということや、受けとめてもらえたという実感が心の安定につながります。

更に、話すことで子ども自身で問題を整理し、解決するための一歩を踏み出すことができます。

より多くの子どもたちが電話を掛けられるよう、フリーダイヤルで開設しています。全国 71 拠点で約 2,000 人のボランティアスタッフが、毎日約 560 件、年間 20 万件以上の子どもたちの声を受け止めています。

本公演の収益は、  
チャイルドラインの活動に使います。



## ドリームシアター・うべ

2008年に子ども劇場OBメンバーを中心に発足。  
大人向けの優れた舞台を公演することと、  
チャイルドラインを応援することを目的に活動している。

## 松元ヒロ プロフィール

- 1952年 鹿児島に生まれる。
- 1969年 鹿児島実業高校在学中、全国高校駅伝で区間賞。
- 1975年 法政大学在学中に陸上の道から芸の道へ。  
卒業後、男は黙ってパントマイマーに。  
その後、よく喋るマイマーとしてお笑いの道へ。
- 1985年 NTV「お笑いスター誕生」で優勝（笑パーティー）。
- 1988年 <ザ・ニューズペーパー>の結成に参加、政治風刺コントの世界へ。
- 1998年 <ザ・ニューズペーパー>を退団し、ソロ活動開始。
- 1999年 渋谷ジャンジャンにて46歳のソロデビュー。  
マイムやトーク、一人コントをフューチャーした“スタンダップコミック”での公演活動に入る。
- 2005年 「立川談志 日本の笑芸百選」（NHK BS2）に選ばれる。
- 2007年 TBSラジオ「永六輔その新世界」の『土曜ワイド芸能大賞』受賞。
- 2000年～ 立川志の輔師匠の「志の輔らくご」に毎月ゲスト出演。
- 2009年
- 2008年～ ソロライブ『ひとり立ち』を主に新宿紀伊國屋ホールで春と秋、定期的に行っている。
- 2013年～ 「週刊金曜日」に『写日記』（エッセイ）を隔週で掲載中。
- 2014年 TBSラジオ・永六輔の『土曜ワイド芸能大賞』2回目受賞。
- 2015年 対談「安倍政権を笑い倒す」出版。（佐高信・松元ヒロ 著）角川新書
- 2016年 絵本「憲法くん」出版。（松元ヒロ 作・武田美穂 絵）講談社